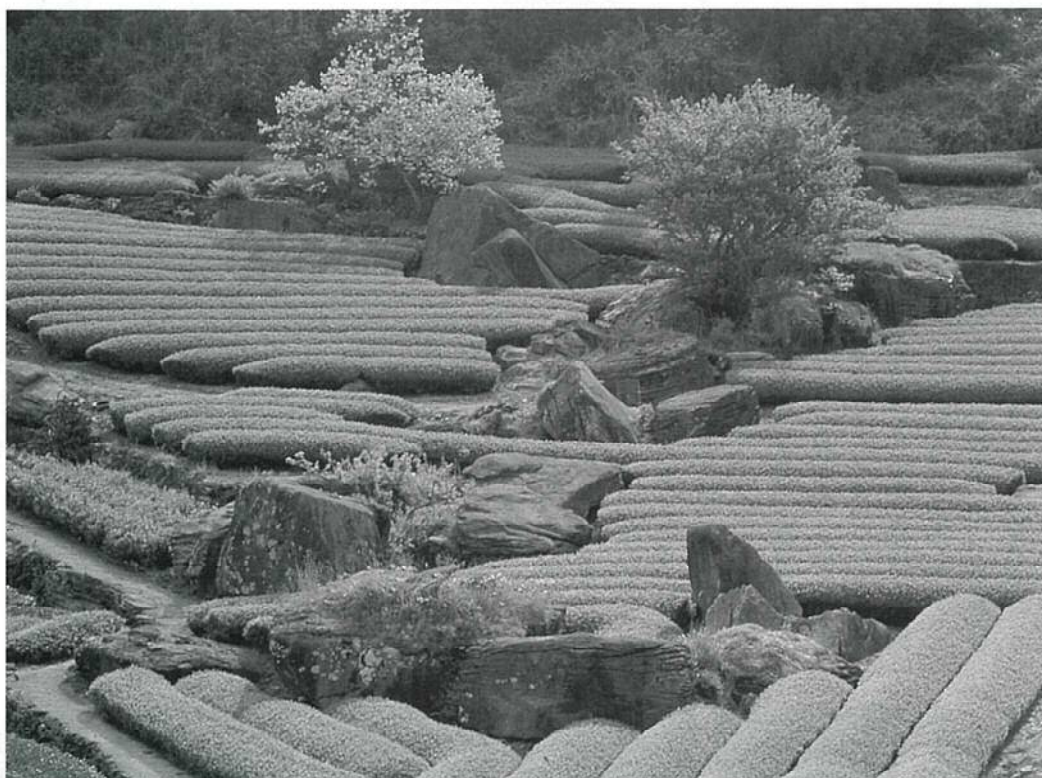




福岡市佐賀県人会会報



【嬉野市】お茶畑

目 次

表紙 お茶畑【嬉野市】

平成19年県人会総会 2~3

ふるさとの首長・ふるさと紹介 嬉野市 谷口市長 4

嬉野の有名な人物 森 正洋 5

佐賀の賢人 佐野常民 6

『かけ橋の会』発足のお知らせ 7

レインボー七つの島 8~9

佐賀県だより 10~11

最近の入会者名簿・佐賀県福岡情報センターだより 12

県人会ゴルフ会 14

編集デスク 15

55

2007.10

久保田町
川副町長伊万里市
前田副市長唐津市
山下総合企画室監鳥栖市
橋本市長嬉野市
谷口市長

さて、この後、各ふるさとのPRタイムを設け、ご来賓の首長五名の皆様にあふれと自慢をさせて頂きました。

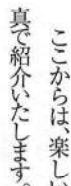
懇親会の写真で～す。



半年ぶりの再会です



親睦会
で～す!

いつも司会お疲れさまです
清村さんと川口さん

ここからは、楽しい会場の内容を写真で紹介いたします。

乾杯の音頭
金子名譽会長

乾杯です!

金子名譽会長の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。



どうですか？景気は。



いつもお世話になります。



すぐ打ち解けて話の輪が広がってゆきます。



さが・ふるさとの歌
「栄の国から」を参加者全員で総踊りです。



鳥栖ハイワイアン
の皆さんです専属
のダンサーもいて、
まさにハイワイアン
を満喫しました。

新年会での再会を期して
万歳三唱です。

恒例の総踊りでフィナーレ。
井浦副会長の閉会の言葉と金子名譽会長、永倉会長の三名で万歳三唱を行い、来春の再会を約束して散会となりました。



♪
春は桜に 秋コスモスと
♪

平成19年度

福岡市佐賀県人会総会

平成19年6月25日 於KKRホテル博多



永倉会長

梅雨真っ最中の六月二十五日、から梅雨のためか雨の心配もなく、薄日の射す天気の中、例年通り百五十名余の参加者で本年度の総会が、薬院のKKRホテル博多で開催されました。

定刻を五分程度過ぎたところで、清村常任理事と川口さへ両人による司会進行で、総会が始まりました。

まず、永倉会長から開会のご挨拶です。

「皆さん、こんばんは。今、紹介頂きました永倉の永倉でございます。前金子会長から引き継ぎまして二年になります。理事の皆さんのが、んばりに、会員の皆さんから結構面白い会だと言ってもらい、ホッとしているところです。さて、今回お気付きのように席がフリーになっております。或る会員の方からいつも同じ町内で同じメンバーでなく、たまには遠くの人とも話したい、との意見がありましたので、思いつきでフリーにしました。

今後とも、会として「いいこと」であれば積極的に実施していきたいと考えております。

また、うしろに懸かっています横断幕ですが、私もこんないいのがあるとは、びっくりしております。が、実はこの横断幕のほり旗を創って、十月に行われる「九州周駅伝」で佐賀チームを応援したかどうかと思っております。また計つてはおりませんが、是非よろしく願います。

さて、本日は総会と言うことで、事が目白押しになっておりますので、簡単ではございますが、ご挨拶に代えてさせていただきます。

続いて「来賓の紹介に移り（お名前は後述）、代表として三名の方に、ご挨拶を頂きました。最初に佐賀県古川知事の代理として徳瀬統括理事より、佐賀県の現状と二〇〇七年青春佐賀総体、がばいプーによる佐賀の情報発信、企業誘致などを含めたご挨拶があり、続いて福岡市長の代理として谷山市市長室長から、九州はひとつという精神で、佐賀県をはじめ各地域と連携しながら、九州全体の発展のために中核都市として今後ともその役割を十分に果たして行きたいと話され、最後に国会議員の保利、福岡、広津の三氏から国会の報告と参議院選挙関連の

広津素子
衆議院議員福岡資磨
衆議院議員保利耕輔
衆議院議員谷口 昭
福岡市長室長徳瀬康憲
佐賀県農水商工本部
企業立地統括理事

話を兼ねて、挨拶がありました。

この後、議事に移り、喜村代表理事より、決算報告、行事日程、予算案などの報告提案があり、満場一致の拍手で承認されました。

ご来賓の皆様（順不同）

- * 衆議院議員 保利 耕輔様
- * 衆議院議員 福岡 資磨様
- * 衆議院議員 広津 素子様
- * 衆議院議員（代理） 山崎 拓様
- * 参議院議員（代理） 陣内 孝雄様
- * 佐賀県知事（代理） 佐賀県農林水産商工本部 企業立地統括理事 徳瀬 康憲様
- * 福岡市長室長（代理） 谷山 昭様
- * 唐津市長（代理） 山下 正美様
- * 新市総合企画企画監 橋本 康志様
- * 鳥栖市長 大石 哲信様
- * 鳥栖市総務部長 前田 和人様
- * 伊万里市副市長 谷口太一郎様
- * 嬉野市長 川副 綾男様
- * 久保田町町長 中尾清一郎様
- * 佐賀新聞社代表取締役 古園 裕久様
- * 佐賀銀行福岡支店長 武藤 英治様
- * 福岡県議会議員 田中 久也様
- * 福岡県議会議員 古川 忠様
- * 福岡市議会議員 小島 久弥様



森正洋ギャラリー

森 正洋

嬉野の有名な人物

森正洋氏は、日頃の食生活に欠かせない日常食器のデザインにおける革新をもたらした昭和35年（1960）に日本デザインコミッティーの「第1回グッドデザイン賞」を受賞し、その後も数多くのデザイン賞、工芸賞などを得た現代陶磁器のデザイナーです。デザインはグッドデザイン賞を受賞したG型しょうゆさしを始め、茶碗、湯呑、皿、急須、花瓶、コーヒークップ、箸置きから灰皿など日常に使用される陶磁器の大半に及びます。

有田窯業大学講師、愛知県立芸術大学教授などを歴任し、後進の育成にも力を注ぎました。またその間にも国内はもとよりイタリア、スペインでの金賞受賞や欧米諸国における出品、展示、講演会など精力的に活躍を遂げました。そして平成12年（2000）にはドイツ陶磁器博物館、ハレ美術博物館において「森正洋―日本の現代陶磁器デザイン展」を開き、平成14年（2002）には東京国立近代美術館にて「森正洋陶磁器デザインの革新展」を開催するなど国内外における陶磁器デザイナーの第一人者として活躍されました。森正洋氏のデザインは、時代への適合性を認識し、確固としたポリシーの元に現代的



グッドデザイン賞を受賞したG型しょうゆさし

で簡潔な用と美への造形思考がもたらされると評されるもので、商品化された食器は、多くの方々の食卓に並び愛用されています。森正洋氏は、平成17年（2005）11月12日に急逝されました。

ふるさとと首長



嬉野市
谷口太一郎市長

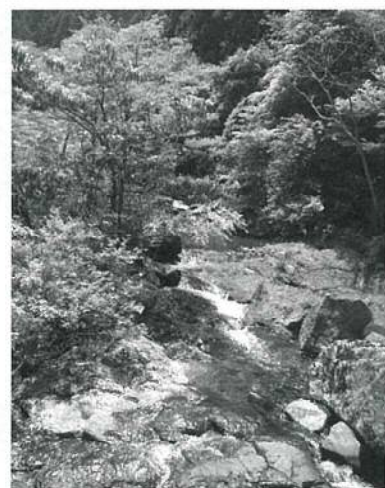
新・嬉野市のご紹介

嬉野市は平成18年1月1日、旧嬉野町と旧塩田町が合併し、佐賀県下9番目の市として誕生しました。



人口約3万人、面積126.51km²からなり、市の中央には虚空蔵山、西から東に流れる塩田川もまた中央部を横切り有明海へと注いでいます。旧長崎街道による結びつきは古く、宿場町として栄え、今も残る建物や遺跡など国の重要文化財の指定を受け、歴史的街なみが残っています。特に、多良岳火山の余勢によりとみられる良質で高温の温泉資源を有し、九州を代表する温泉地として栄え、嬉野温泉は美肌の湯と呼ばれています。

この美肌の湯で煮込む名物料理に「嬉野温泉湯どうふ」がありますが、一度賞味していただきます。旧長崎街道による結びつきは古く、宿場町として栄え、今も残る建物や遺跡など国の重要文化財の指定を受け、歴史的街なみが残っています。特に、多良岳火山の余勢によりとみられる良質で高温の温泉資源を有し、九州を代表する温泉地として栄え、嬉野温泉は美肌の湯と呼ばれています。



大正から昭和にかけて火鉢、大皿等を製造していた志田焼き資料館やレンガ堀がレトロな志田焼の里博物館があり、当時の焼き物を生産していた貴重な産業遺産があり、歴史的施設として高く評価されています。

一方、嬉野町皿屋には今でも日用食器の磁器が主で、茶碗や湯のみといった和食器からワイングラスなどの洋食器まで幅広く製造している肥前吉田焼の窯元があり、日々技術の向上に励んでいます。昭和62年から陶磁器を通じ、作り手と使い手の交流を図り陶産地吉田のPRや窯業の活性化等地域産業の振興を目指しています。

また、なだらかな盆地に広がる茶畑は、春になると一斉に茶摘みが始まります。嬉野茶は、茶葉が1枚1枚丸いため玉緑茶（ぐり茶）と呼ばれ、後味に清涼感がある「蒸し製玉緑茶」と、のどがさがさっぱりとしている「釜炒り製玉緑茶」の2種類があり、それぞれの味を楽しむことができます。癒しのスポットとしては、秋の春日溪谷の紅葉が見事です。国見岳から注ぐ清流吉田川の上流に位置し、平成10年には「新さが百景」に認定されたその景観はまるで自然が造りだした芸術品とも言われています。市内には長崎自動車道、国道34号、498号線といった西九州の広域的な交通網が充実し、近き将来には九州新幹線西九州ルート整備も予定されています。

「明るく、やさしく、たくましく」をキャッチフレーズとし「歓声が聞こえる嬉野市づくり」に市民と共に魅力のあるまちづくりを目指しています。是非一度嬉野へもお越しください。あたたかい心で迎えたいと思います。

福岡市佐賀県人会 会員のみなさまへ

福岡市佐賀県人会
常任理事・行事部会長 清村克行『かけ橋の会』発足のお知らせ
及び第1回交流会のご案内

皆様、お元気ですか？

秋らしい日がやってきました。予てよりご案内致しておりました、会員同士の交流会を下記要領で開催いたします。

皆さんの中で、仕事をしている人同士で、その人となり・仕事ぶり・生き様等を知り合い学び合い、お互いの仕事や商品等を理解し合い、佐賀に縁のある者同士の経済交流や自分の生き方等に活かしていく、「人的ネットワークの構築」を目指します。

また今後は、外部講師を呼んでの勉強会・企業訪問・各種報告会等を、年間数回計画しております。

このネットワークを『かけ橋の会』と名付けたいと思います。未来への懸け橋、佐賀と福岡との架け橋を意味します。

まずは、知り合うことをベースに、スタートしたいと考えます。通常の会合では知り合う機会の少ない方達と、より深く交流できればと思っています。

記

開催日時：平成19年11月14日（水） 午後6時から、約3時間程度

会場：天神「テラ」7Fスカイホール

福岡市中央区渡辺通5-25-18（天神大丸エルガーラの南東側） TEL 092-732-4441

会費：3,500円（飲食付き）

締切：11月9日までの、先着30名限定＜当日は、名刺・パンフ等をご持参ください＞

以上

お申込みは

福岡市佐賀県人会事務局 TEL092-714-3111（井上）

または、行事部会長 清村 TEL090-8914-5772までご連絡ください。

学 学 学 学 学
立 大 大 大 大
共 女 女 女 女
州 州 州 州 州
九 九 九 九 九
州 州 州 州 州
自 自 自 自 自
由 由 由 由 由
九 九 九 九 九
州 州 州 州 州
女 女 女 女 女
子 子 子 子 子
大 大 大 大 大
学 学 学 学 学
附 附 附 附 附
属 属 属 属 属
自 自 自 自 自
由 由 由 由 由
ケ ケ ケ ケ ケ
丘 丘 丘 丘 丘
幼 幼 幼 幼 幼
稚 稚 稚 稚 稚
園 園 園 園 園

学校法人 福原学園

理事長 福原 弘之

〒807-8586 北九州市八幡西区自由ヶ丘1番1号

TEL 093-693-3083

FAX 093-691-6468

【出身地 実兄 孔子の里 多久市出身】

佐賀の七賢人

佐野 常民

さの つねたみ
1823-1902

佐野常民 肖像

明治政府で海軍創建に尽力、大蔵卿、農商務大臣などを歴任しました。西南戦争では博愛社を創立して負傷者の救護活動に当たりました。日本赤十字の生みの親。

【鍋島 直正】なほしま なおまさ
反射炉による大砲の鑄造で全国に名を馳せた名君。【副島 種臣】そへしま たねおみ
政治以外に書家としての才覚も発揮した多才の人。【大隈 重信】おおくま しげのぶ
日本初の政党内閣を組織した早稲田大学創始者。【大木 喬任】おおき たかしぐ
文部大臣として教育体制の整備に尽くした元東京府知事。【佐野 常民】さの つねたみ
日本の赤十字事業の生みの親、博愛の人。【江藤 新平】えとう しんぺい
司法制度の基礎をつくった初代司法卿。【島 義勇】しま よしたけ
札幌を中心に北海道を開拓した北海道開拓の父。

福岡市佐賀県人会入会の案内

福岡市在住の佐賀県出身者は大略十五万人だろと言われています。

この中には各界で活躍されている著名な方々も多く佐賀県人会の存在は財政界・経済界で最も注目されています。

佐賀県人会の発足は明治中期に三夜待程度の親睦会で十数名の組織だったようです。

その後大正初期に医博の溝口喜六先生（久留米大創設者）を中心に東中州の九州劇場を貸し切り二百名の県友が参集し盛大に行われ、その後も二・三回の大会が開催されたと言われます。

昭和二十六年、中島徳松翁を中心に会の再興が話合われ、翌二十七年春、護国神社社頭に鍋島知事夫妻を迎え、約千名の会員が参集。戦没者慰霊祭を兼ね盛大に開催されました。

爾来毎年一回、郷土の知事・県議会議員・各市長・佐賀新聞社長などの出席を得て年々盛大さを加えて来ました。この会は同郷人同志の親睦をはかり、互いに助け合い励まし合う事を目的としています。金子前会長が名誉会長に就任され永倉会長就任後、二百名出席のもと新春懇親会・総会と、活発な大会を開催致しておりますが、会員の高齢化により会員数が減少致しております。

会の強化を目的に佐賀県人会への入会を進め、益々佐賀県人会が発展致しますよう皆様のご協力の程お願い申し上げます。

事務局より

広告掲載のご協力をお願い致します。

一 枠約（六×八） 一 万円
二 枠約（六×十） 二 万円
四 枠約（二×二） 三 万円
八 枠約（四×二） 五 万円

広告の受け付けは事務局又は、理事の方々へご連絡下さい。

福岡市佐賀県人会 事務局

〒八二〇〇〇七四

福岡市中央区大手門二丁目三番七号

昭利商事石油株式会社内

電話（〇九二）七四一三二二番

担当 井上



創業寛永七年

名菓 千鳥屋本家

代表取締役社長 原田 利一郎

飯塚本店 飯塚市本町4番21号

TEL0948-22-1938 ホームページ <http://www.chidoriya.net>



★島の北側に面する岸壁に立つと、晴れた日には隣組のような歩いてでも渡れる【小川島】が見えます。

を訪れたといわれています。古代の遣新羅使においては本土との行き来で日本最後の停泊地のこの島から、彼らは朝鮮半島に渡っていったと伝えられています。島には彼らが船待ちしていたときに詠んだといわれる歌碑が七カ所にたたずんでいます。

★鯨見張り小屋から目を西に転じると、そこには、古代の神秘的な島【加唐島】が浮かんでいます。別名（ツバキ島）といわれるように島全体に（椿）が生えています。さらに、この島に好寄の目が向けられている歴史的事柄があります。それは、朝鮮半島の（百濟）25代王様である【武寧王】がこの島の（オビヤ浦）で生まれたことが日本書紀に書かれているということです。歴史の史実を解き説き明かすミステリーは（邪馬台国）より謎深いものがありそうです。その謎を求めて来島されることをお勧めします。

★さらに目を西側に転じると、この島は、何といっても多くの人が知るかつて大活躍した（捕鯨船団）が勇士を馳せた島として有名です。島の一番高い所には「鯨見張り所」を配して、海域に接近するクジラの大群を捕鯨団にいち早く知らせる小屋が今でも残っています。小屋の中の見張り台の鴨居には当時勇躍した捕鯨の状況を記した絵図が掲げられています。



★松島よりさらに西の海上には、冒頭で紹介した蒙古軍を壊滅させた立役者【馬渡島】が、馬が寝ているような格好をして横たわっています。さらに、西には（二神島）が（子二神島）を従えて本島に寄り添っています。この島こそ蒙古軍を壊滅させた（神風）の元祖だったのかも知れません。島には、先祖伝来の島民である仏教徒と流島者であるキリスト教徒の二つの異教徒が共存して生活しています。まさに、神秘的な島といってもいいでしょう。



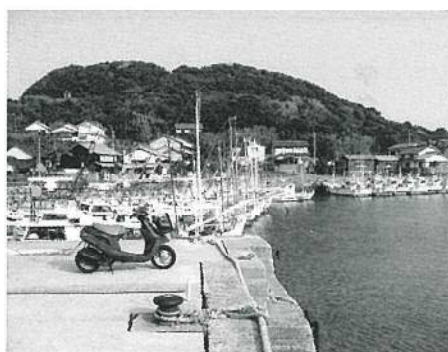
★最後は、（馬渡島）と長崎県北松浦郡の（鷹島）ちょうど中間に位置するところに【向島】が東西南北の海の分岐路に聳える灯台を設置した島が控えめに佇んでいます。この灯台の役目は、東西南北を横切る多くの船舶で海難事故が多く発生する海上交通の要衝の役目として、この向島灯台でどれだけ命拾いをした船長と乗組員がいたことでしょう。向島には、かつて金山がありました。島の守り神（八坂神社）の

佐賀県北部 玄界灘に浮かぶ 七つの島に歴史とロマンを求めて



壇ノ浦の戦い、元寇の戦い、倭寇の活動で活躍した（まつら党）。それは、いうまでもなく松浦水軍のことです。中世の始めに水軍として活躍したのはあまりにも有名ですが、場所は現在の地名【長崎県松浦市・北松浦郡・佐賀県東松浦郡】の海域（まつら）と発音しますが、かつては【まつら】と呼ばれていました。

この水軍の活躍は、豊臣秀吉が企み朝鮮への出兵を試みた（慶長の役）で終わりましたが、それまでの彼らの縄張り、玄界灘から日比水道、青島水道でした。特に勢力を二分した上松浦党と下松浦党に役割分担をし、上松浦党の【波多】氏は内陸部を支配し、岸岳城（佐賀県北波多村）を根拠にしたものの戦国時代に滅亡しましたが、下松浦党は「平戸松浦」氏のもとに戦国時代を生きた関ヶ原以降6万3千石の外様大名として生き残りました。ところで（まつら党）が活躍した海域は、佐賀県北部玄界灘に浮かぶ【七つの島】がその舞台です。



そして、この時も神風が吹き荒れ沈没してしまいました。七つの島の一つ（馬渡島）で一番高い山の頂上には「番所ヶ辻」というのが現存しますが、敵軍の攻撃に四方を眺め、向かい撃つ（まつら軍）の攻撃の様を向かいの波戸岬に待機した伝令を狼煙で知らせ、受令は馬に乗って当時の旗頭【波多】氏の一族であった「名護屋」氏の居城（現在の名護屋城）に報告し、さらに、福岡の太宰府に終結した九州の御家人に報告されたといえます。（その頃はまた「唐津城」は築城されていませんでした。）

★現在の唐津湾にお茶碗をひっくりかえしたような島は【高島】です。今ではすっかり有名になった（宝くじ）で、一見、全国区になりました。それまでの来島者は2万人ぐらいでしたが、昨年、島に訪れた人が20万人といっていますから、実に20倍増の賑わいぶりです。この島で特筆することは、島民の99%が「野崎」姓といいますが、島民のほとんどが関係者ということになります。相手の名前を呼ぶときも（姓）ではなく（名）で呼ぶことになりました。一夜にして億万長者も夢ではない折鶴の神社「宝神社」が皆様の来島をお待ちしています。

■青春佐賀総体開幕

県勢躍進、最多の金6個

掲載日2007年8月21日
7月28日から24日間にわたって、県内を舞台に高校生アスリートが熱戦を繰り広げた全国高校総合体育大会「2007青春・佐賀総体」が20日、閉幕した。全29競技に約1000人の選手が出場した県勢は、5団体1個人が優勝し、この15年で最高の金6個を獲得する活躍を見せた。

全国を制覇したのは、県勢アベック優勝の新体操男子・神埼清明と女子・佐賀女子、なぎなたの佐賀東、剣道男子の龍谷、アーチェリー女子団体の高志館、弓道女子個人の酒谷恵美選手(伊万里)の5団体、1個人。最近では最高だった昨年の1団体4個人を上回り、特に団体競技の活躍が目立った。8位以上の上位成績も19団体(昨年17)、39個人(同19)で、ともに昨年より成績を伸ばした。

高校スポーツ最大の祭典は、七月二十八日の総合開会式で華やかに幕を開けた。県内ほぼ全域となる10市10町の68会場(サッカーの



一部は福岡県の5会場)で29競技が開かれた。期間中は八月二日の台風5号通過や翌三日の雷雨の影響で、陸上やテニスなどで競技日程が変更されるなど運営に支障をきたした。

日本一を目指し、全国から集った約2万7000人の選手たちのひたむきなプレーは、各会場で声援を送った観客や多くの県民にさわやかな感動を残した。

各競技会場では一人一役活動の高校生たちが、競技補助のほか、受け付けや駐車場整理などで大会を支えた。会場清掃など市民ボランティアの活動も特徴で県民挙げて取り組んだ「もてなしの心」で大会をサポートした。

来年の全国総体は、埼玉県を中

心に七月二十八日から八月二十日までの日程で開かれる。

(佐賀総体取材班)

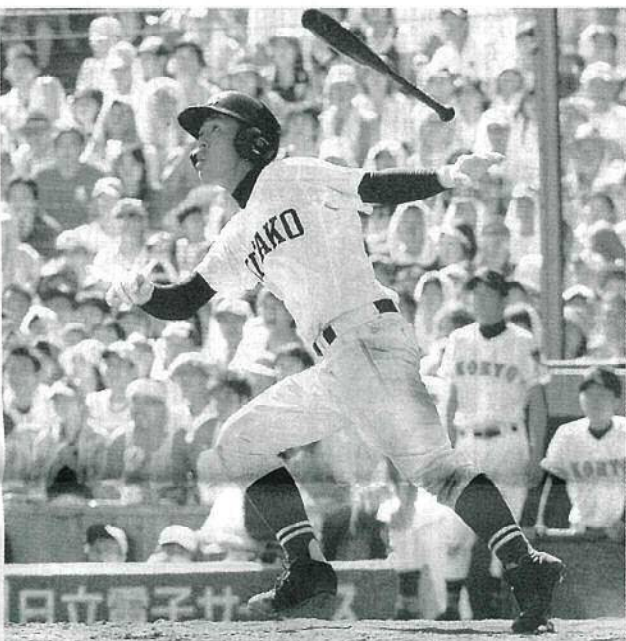
■佐賀北優勝

掲載日2007年8月23日

何というすごいドラマを見せてくれたのか。全国のファンがたずをのんだ全国高校野球選手権大会決勝。広陵のエースの快投に完

商は九回表、4-4から満塁ホームランが出て初優勝を手に入れている。不思議な感じがする。北高の全国制覇である。宇治山田商戦の延長十五引き分け・再試合も県民を熱くした。大会屈指の強豪帝京相手に延長十三回、サヨナラ勝ちした準々決勝は、甲子園の球史に残る試合だった。中堅、馬場崎の二度にわたる超ファインプレー、再三、ダブルプレーでピンチをしのいだ内野陣。そして、

(杉)



解説者に「絶妙のリレー」と言わせた、対照的なタイプの馬場、久保の両エースの粘りが栄冠の原動力となった。私立強豪校のような恵まれた練習環境にない県立普通校が全国の頂点に立った。市丸主将は「球場全体がうちを応援してくれた感じだった」と優勝インタビューで答えた。観客の共感を呼び込む、すがすがしい野球だった。

■浜の「赤鳥居」ありがとう

掲載日2007年9月11日

老朽化で取り壊される鹿島市浜町の祐徳稲荷神社「大鳥居」の「赤鳥居」に感謝するついでに、九日、同町のJR肥前浜駅前であった。地元住民らがライトアップされた鳥居に向かい和太鼓や踊りなどを披露。竹灯籠(どうろう)が幻想的な光を放つ中、参加者たちは惜別の思いを胸に、町のシンボルに別れを告げた。

地元自治会などで組織する浜町振興会理事会(中村雄一郎会長)が十日からの解体作業を前に企画した地元出身者ら約三百人が集まり、鳥居で遊んだ思い出話などに花を咲かせた。

午後七時、スポットライトに灯がともると、高さ十八mの鳥居は



七十四年の歴史をひもとくかのよう闇夜に浮かび上がった。舞台では創作舞踊の九州秋居会が「感謝の舞」を演じ、住民たちも鳥居への思いを込めた相撲甚句などを披露した。

長崎県から帰省した山岡麻美さん(20)は「父や私の思い出がいっぱい詰まった場所。寂しさは残るが再建を目指す」と聞いているので募金にも協力したい」と話した。

(宮崎 和)

■白石「てんべ」

消費拡大へメニュー開発

掲載日2007年9月11日

白石町のしろいし特産物直売所は、大豆を使った特産品「しろいしてんべ」による料理を開発している。これまでハンバーグやギョーザなどを商品化。健康志向に伴う新たなニーズに応えるとともに、食卓に並ぶ料理のアイデアを提案して大豆の消費拡大を目指す。

しろいしてんべは同町産の大豆を使用し、煮込んだ後にテンペ菌(リゾーブス菌)で発酵させた加

工品。においや粘りがなく、高タンパクでコレステロールを抑えるなど栄養価が高いという。大豆の生産が拡大した一九七〇年代から地域振興の一環で始まり、現在は同直売所で販売する。

来客の「食べ方や料理法が分からない」との声を受け、調理済みの冷凍食品の開発を手掛けるようになった。商品化したハンバーグは九州の黒毛和牛にてんべを混ぜ合わせており、三個八百円、五個千二百五十円。またギョーザはSPF(特定病原菌不在)豚肉を使用し、二十個五百八十円で販売している。

同直売所しろいしてんべ加工協議会の猪ノ口操代表は「てんべはどんな料理にも合う健康食品。食への関心が高まる中、毎日の食事の中にてんべを加えてほしい」と話す。問い合わせは同直売所、電話0952(84)7050へ。

(山本)

■佐賀に足を運んで!

観光・特産品PR

掲載日2007年10月18日

九州の観光・物産フェアが十三、十四の両日、東京の代々木公園であり、県も出展して佐賀の観光や物産を首都圏の消費者にPRした。最終日は古川知事と佐賀市出身のタレント優木まおみさんがトークショーを行い、佐賀の魅力を来場者に語りかけた。

県ブースでは「南のムラ」が新たに開園した吉野ヶ里遺跡などの古代イメージと、「佐賀のがばいばあちゃん」で話題の「がばい」を競演。古代米おにぎりや菓子など「がばい佐賀」商品が完売する人気だった。

トークショーで二人は地元の食文化に触れながら、ミカン、佐賀牛、呼子イカの特産と、吉野ヶ里遺跡、唐津くんち、佐賀バルーンフェスタなど秋の観光を紹介。古川知事は「ほかのブランドのおいしさを超えておいしい」と佐賀牛を自慢、優木さんは「バルーンで佐賀の空はカラフルになる。くんち魂もうらやましいほど熱い。ぜひ足を運んで」と呼びかけた。

(辻村)



平成20年「福岡市佐賀県人会新春懇談会」のご案内

2008年「福岡市佐賀県人会新春懇親会」を下記の通り開催致します。



開催日 平成20年1月23日(水)
時 間 午後6時より
場 所 KKRホテル博多

皆様お誘い合わせの上、是非お越し下さい。

御婚礼 宿泊 各種宴会 会議



堀こたつの個室と大宴会場(300名様迄)
福岡の中心地天神に近くショッピング・観光に便利!

四季の旬な会席料理を・・・
日本料理「萌木」(TEL092-521-1432)

KKRホテル博多

〒810-0022 福岡市中央区薬院4丁目21-1
TEL 092-521-7446 FAX 092-525-1083
ホームページ <http://www.kkr-hakata.com>

名物 博多うどんすき

大福

〒810-0041
福岡市中央区大名2丁目1-2(天神西通り)
TEL 092(781)6731
熊本幸子

美女(心)揃いの店です。お待ちしております。

グラバー邸

田川 きよみ

〒811-0301 福岡市博多区中洲2丁目6-7
ジョイフルヤマモトビル4F
TEL 092-963-2033・FAX 092-963-2034

うなぎ料理・こい料理 味は天下一品
南区一帯とその周辺出前致します

和田の名所

うなぎの黒田屋

代表 田中 邦房

福岡市南区和田4丁目10-25
TEL 551-1277・551-3663

京阪神不動産(株)福岡事務所長
ウエルタ新宮パワーセンター代表

貞方 弘道

〒811-0111 新宮町三代区991
TEL 092-963-2033
FAX 092-963-2034

福岡市佐賀県人会 最近の入会者名簿

氏 名	出身地	氏 名	出身地
河口 里美	唐津市	武富 芳弘	江北町
真木 秀人	吉野ヶ里町	円田 良嗣	嬉野市
納富 良清	佐賀市	吉野征一郎	佐賀市
三浦ミユキ	〃	井上美奈子	鹿島市
北村 惇	〃	北島 省二	小城市
中村 聡志	唐津市	矢羽田美光	多久市
小野原龍弘	鹿島市	原 一博	唐津市
小野原 誠	〃		

佐賀県福岡情報センターだより

いよいよ秋の行楽シーズン。県内の主な祭りや秋の風物詩とあわせて福岡情報センターでのイベントの紹介をいたします。

佐賀県福岡情報センター
福岡市中央区天神1丁目7番11号イムズ7F
TEL 092-733-2023
FAX 092-731-5977
E-mail saga3inf@plum.ocn.ne.jp



【祭り】唐津くんち:11月2日(金)~4日(日)

日本三大くんちのひとつに数えられている「唐津くんち」は、約400年の歴史を持ち、今日に引き継がれています。一番曳山「赤獅子」から十四番曳山「七宝丸」まで14台の曳山が笛や太鼓にあわせ「エンヤ、エンヤ」の掛け声とともに唐津の町を練り歩きます。最大の見せ場は、11月3日の御旅所への曳き込みです。砂地のグラウンドに、曳き子達は一斉に2トン以上もある曳山を引っ張ります。砂地にめり込んだ車輪をもとめせずに曳き込む姿は勇ましく一見の価値があります。



【秋の風物詩No.1】2007佐賀国際バルーンフェスタ:10月31日(水)~11月4日(日)

すっかり佐賀の秋の風物詩となった「佐賀国際バルーンフェスタ」は、今年で28回目を迎え、嘉瀬川の河川敷をメイン会場に開催されます。今年も国内外から100機を超える熱気球が、佐賀の空をステージに舞い上がります。期間中には、JRの臨時駅が設置されるとともに市内からシャトルバスが運行されます。



【秋の風物詩No.2】九年庵の一般公開:11月15日(木)~23日(金)

毎年、紅葉が最も美しい時期の9日間のみ一般公開されるで神埼市の「九年庵」。園内は、数奇屋建築の邸宅を囲んで、700本以上のツツジやモミジが植えられており、燃え立つような赤を基調とした色絵巻は、まさに圧巻です。福岡からは、東脊振トンネルの開通で更に便利になりました。近くには、吉野ヶ里歴史公園や山茶花の湯などもありますので秋の1日を満喫していただけるものと思います。

【イベント:佐賀県福岡情報センターの催し物】

- 透かし彫り香炉と南蛮人絵のうつわ展:11月1日(木)~7日(水)
 - “もったいない”を家(かたち)にしよう!:11月9日(金)~19日(月)
 - 肥前鍋島小紋人形展:11月22日(木)~29日(木)
 - お正月は本丸へ行こう!:12月11日(火)~17日(月)
 - やきもの工房「武雄古唐津焼編」:12月19日(水)~26日(水)
 - 吉野ヶ里歴史公園PR展:12月28日(金)~1月9日(水)
- 但し、12月31日、1月1日は休館日

「一日大学福岡塾 さかを学ぶ」

西日本新聞創刊130周年
佐賀総局開設10周年記念行事

日時 11月18日(日)9:30~16:40
会場 天神ビル10F

西日本天神文化サークル主催
TEL 092-721-3200

SHOWA GROUP <http://www.seed-holdings.co.jp>

- 財団法人金子財団
唐津市千代田町2565-5 ☎0955-74-1111
- 学校法人昭和学園 昭和幼稚園
唐津市北城内4-3 ☎0955-72-4380
<http://www1.people-i.ne.jp/~showayou/>
- 昭和グループ企業年金基金
福岡市中央区渡辺通4-8-28 ☎092-751-6111
- 昭和自動車(株)
唐津市千代田町2565-5 ☎0955-74-1111
<http://www.showa-bus.jp>
- 福岡トヨタ自動車(株)
福岡市中央区渡辺通4-8-28 ☎092-761-3331
<http://www.toyota.co.jp/fukuoka/>
- 西九州トヨタ自動車(株)
佐賀市嘉瀬町大字扇町2480 ☎0952-24-4171
<http://www.nishikyusyu-toyota.co.jp/>
- トヨタカローラ福岡(株)
福岡市中央区長浜2-1-5 ☎092-712-7111
<http://www.toyota.co.jp/c-fukuoka>
- ネットトヨタ福岡(株)
福岡市博多区博多駅南6-14-35 ☎092-411-5511
<http://www.netzfukuoka.co.jp/>
- ネットトヨタ佐賀(株)
佐賀市新栄西2-6-7 ☎0952-22-3211
<http://www.toyota.co.jp/netzsaga/>
- トヨタL&F福岡(株)
福岡市博多区東比恵4-5-14 ☎092-475-4009
<http://www.if-fukuoka.com>
- (株)トヨタレンタリース福岡
福岡市博多区東光寺1-1-1 ☎092-461-0100
<http://www.tri-fukuoka.co.jp>
- (株)トヨタレンタリース佐賀
佐賀市嘉瀬町大字扇町2312-5 ☎0952-28-0100
<http://www.toyota.co.jp/rent>
- 昭和商事石油(株)
福岡市中央区大手門2-3-7 ☎092-714-3111
<http://www.showa11.co.jp/>
- 昭和西濃運輸(株)
福岡市東区箱崎ふ頭5-3-10 ☎092-551-4661
- 福岡昭和タクシー(株)
福岡市中央区渡辺通2-4-35 ☎092-761-2171
<http://www.fukuokashowataxi.com/>
- 昭和タクシー(株)
唐津市和多田用尺5-2 ☎0955-73-4624
- 吉岐交通(株)
吉岐市郷ノ浦町東触575-2 ☎0920-47-1255
<http://www12.ocn.ne.jp/~ikibus/>

- 吉岐海運(株)
吉岐市郷ノ浦町大明神266-2 ☎0920-47-1285
- 吉岐交通タクシー(株)
吉岐市郷ノ浦町郷ノ浦本村触676-13 ☎0920-47-1156
<http://www12.ocn.ne.jp/~ikibus/>
- 唐津シーサイドホテル(株)
唐津市東唐津4-182 ☎0955-75-3300
<http://www.seaside.karatsu.saga.jp>
- 唐津青果(株)
唐津市材木町2141-1 ☎0955-72-4161
- (株)SEEDホールディングス
福岡市中央区渡辺通4-8-28 ☎092-761-6085
<http://www.seed-holdings.co.jp>
- (株)オリエント
唐津市和多田西山6-50 ☎0955-73-9261
- (株)昭和トラベラーズクラブ
唐津市南城内1-15 ☎0955-74-1124
<http://www.stci.co.jp>
- (株)ソアー
佐賀市鍋島3-10-14 ☎0952-33-0694
<http://www.soar-saga.co.jp/>
- 昭和フード(株)
佐賀市開成3-7-38 ☎0952-36-5467
- 昭和興産(株)
唐津市和多田大土井6-2 ☎0955-74-7271
<http://www.showakosan.co.jp/>
- CATS(株)
福岡市博多区博多駅南1-8-31 ☎092-411-5550
<http://www.showa-cats.com/>
- (株)佐賀中央青果市場
佐賀市鍋島町大字森田2721-1 ☎0952-30-3151
- (株)昭和ファイナンス
唐津市千代田町2565-5 ☎0955-72-1390
<http://www.showa-finance.jp>
- アーバン・コア昭和(株)
福岡市中央区渡辺通4-8-28 ☎092-711-1031
- (株)唐津ゴルフ倶楽部
唐津市菅牟田64-1 ☎0955-73-2933
- (株)ジェームス福岡
福岡市博多区東那珂2-1-54 ☎092-411-7001
- カーメイクショップ佐賀(株)
佐賀市嘉瀬町大字扇町2288-3 ☎0952-40-7711

会報むつごろ

平成19年10月30日発行
福岡市佐賀県人会
(発行責任者 田中 貞義)
福岡市中央区大手門2-3-7
昭和商事石油株式会社
☎092-714-3111
製作 有限会社タナカ
☎0955-23-5214

平成十九年度総会も盛会裡に終りました。
今回も水間理事の御協力により、総会の様子が手に取る様に伝わる記事となりました。毎回のことですが感謝申し上げます。佐賀県人会ゴルフ会の記事有難うございました。ゴルフ会の人々も回を重ねる毎に増えている様です。
更に、ふるさとニュースは、佐賀新聞社、佐賀情報センター、だよりも定着し感謝致しております。有難うございます。
歴史ある、佐賀県人会への入会を既望される友人知人の方々のご紹介をお待ち致しております。
(入会申込書は事務所にあります。)

(ST)

編集デスク

福岡市佐賀県人会ゴルフ会

・ 9月13日大博多カントリー倶楽部にて開催
7組、28名の参加で、優勝は黒田氏。

・ 本年最後の開催は、11月20日の予定。

・ 来年は、3月に開催の予定。

申し込み及びお問い合わせは

福岡市佐賀県人会ゴルフ会

事務局 松尾真一 TEL092-593-1415

ゴルフクラブ製造・販売・修理

ナオキ工房

〒849-5131 佐賀県唐津市浜玉町浜崎730-1
TEL・FAX 0955-56-7039
携帯 090-9061-3386

土曜教室

西区野方ゴルフガーデン
TEL 092-811-4677
1ヶ月レッスン料金(週4回) ¥10,000(120分)

株式会社 三洋建設

代表取締役

嘉村 博
HIROSHI KAMURA

〒812-0015
福岡市博多区山王2丁目1番10号
Phone (092) 483-8411 Fax (092) 483-8412
E-mail sanyocons@yahoo.co.jp
HP (090) 8222-6771

【出身地 富士町】

■太陽光発電(ソーラー)

電気を創る、売る、買う
全てを自動で行います。



屋根スペースの有効活用で光熱費節約!



オール電化との組み合わせで
さらにお得
オール電化を組み合わせれば
さらにお得
「省エネ」と「創エネ」で安全・快適・経済的

空調調・給排水衛生設備・設計施工

株式会社 照 設

代表取締役 木下和則

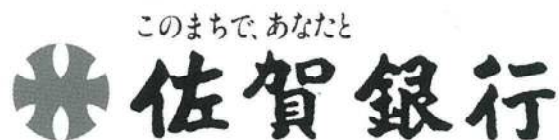
本社 〒814-0123
福岡市南区長尾4-18-19
E-mail:k-kinosita@syousetu.co.jp
<http://www.syousetu.co.jp>

宮崎出張所
宮崎市大字塩路字御手洗2686-2

未来をみつめ、地域の発展を願って

経営理念

私ども佐賀銀行は「地域密着と健全経営」に徹し、
地元金融機関として良質な金融サービスを提供し
業務を通じて地域社会の発展に奉仕します。



本店営業部 〒840 佐賀市唐人二丁目7番20号
-0813 ☎(0954)24-5111